

事業番号	125
------	-----

平成24年度事業評価シート（平成23年度事業の評価）

1. 事業の概要

事業名	公共下水道整備事業				担当課	下水道課	
事業期間	開始年度	平成6年度	～	終了予定年度	平成62年度	担当係	工務係
総合計画	めざすまちの姿	5 調和のとれた便利なまち					
	目標	③ 快適な住環境をつくる（生活関連施設の整備）					
	成果指標	下水道処理区域内人口			中間目標 (H27)	27,960人	最終目標 (H32)
予算区分	一般会計	1 款 事業費 ; 2 項 事業費 ; 1 目 建設費					
	細事業	903 整備事業費					
位置づけ	関連計画	浜名湖流域別下水道整備総合計画					
	根拠法令	下水道法					
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 ・ <input type="checkbox"/> 国 ・ <input type="checkbox"/> 県 ・ <input type="checkbox"/> その他						
実施方法	<input type="checkbox"/> 市が直接実施・運営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部又は全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他（						
対象(誰のため)	<input type="checkbox"/> 全市民 <input checked="" type="checkbox"/> 特定の市民 <input type="checkbox"/> 特定の団体 <input type="checkbox"/> その他						
事業の目的 (何のため)	公衆衛生の向上と公共用水域の水質改善						
内容(概要)	湖西市公共下水道全体計画の見直しを図る。 管渠整備を推進し、処理区域内人口の増加に努める。						
これまでの改善・ 見直しの状況	旧湖西市公共下水道事業 第1期事業認可 平成6年度 99.0ha 第2期事業認可 平成11年度 145.0ha 第3期事業認可 平成14年度 200.0ha 第4期事業認可 平成18年度 303.1ha 第5期事業認可 平成21年度 446.1ha 旧新居町公共下水道事業 第1期事業認可 平成6年度 99.0ha 第2期事業認可 平成12年度 211.0ha 第3期事業認可 平成18年度 306.0ha 新湖西市公共下水道事業 全体計画見直し 平成23年度						

2. コスト

(単位:千円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度事業費
事業費	予算	1,493,320	873,921	898,556	(内訳)
	決算	1,303,000	548,393		
財源内訳	国庫支出金	564,000	229,000	340,000	物件費 5,622
	県支出金				補助費等 12,945
	地方債	653,800	270,600	441,000	普通建設事業費 529,826
	その他	78,540	33,002	56,560	548,393
	一般財源	6,660	15,791	60,996	
職員人件費	50,830	50,237	51,369	人工	6.4人

3. 事業の評価

事業の実施状況

内容		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率	
活動指標	下水道処理区域内人口	人	目標	21,418	22,790	24,040	98%
		実績	20,507	22,319			
		目標					
		実績					
		目標					
		実績					
実績・改善	平成23度活動内容	①幹線管渠築造工事 L=1,077.9m 面整備(枝線)の基幹となる管渠を整備する。 ②枝線管渠築造工事 L=4,526.1m 下水道が使用可能となり、事業の目的に直接寄与することになる。 ③湖西市公共下水道全体計画見直し業務委託 1件 合併に伴い、より効率的な全体計画を策定する。 ④岡崎中継ポンプ場測量業務委託 1件 新所原地区の下水道整備に必要な岡崎中継ポンプ場の用地測量を実施する。 ⑤枝線管渠実施設計業務委託 3件 面整備(枝線)工事の発注に必要な図書を作成する。					
課題・問題点となった事項	①国庫補助金の減少 ②低価格入札工事の品質確保 ③工事中の交通渋滞						
どう対処したか	①契約差金で追加工事を発注し、補助金の減少分を補う。 ②週間打合せ、段階確認、中間検査等の回数を増やし、監督体制の強化を図る。 ③工事案内看板により事前周知を徹底する。 始業、終業時刻の遵守させる。 的確な交通整理を実践する。						
改善点	工事発注単位を集約し、諸経費の削減を図った。 (古見2工区・鷺津4工区)				効果額 H24-H23 (千円)	1,070	
自己評価	事業目的の達成状況	国庫補助金が減少傾向にある割には、ほぼ目標を達成できた。					
	※必要性事業を廃止・休止したときの影響	平成23年度末処理区域内人口は、22,319人で、率にして38.1%にすぎず、まだまだ普及が進んでいない。 公衆衛生及び公共用水域の水質は改善途中であり、総合計画でめざしているきれいなまちになりえない。 下水道インフラの遅れで新湖西市の質が低下する。					
	判定	A継続	現行の内容で実施	事業主体	市		
	判定理由	湖西市の普及率38%は、県平均(57%)大きく下回っている。 湖西市総合計画でめざす、まちの姿には遠く及ばないことから、これからも整備を進捗させる必要がある。					
	今後の方向性	全体計画見直しの成果にそって、事業認可区域の拡大を行い、人口集中地区の整備を積極的に推進する。					